

NEWSLETTER



華僑大学(中国)

1960年設立の15の学部からなる総合大学。海外在住華僑の子弟が中国の教育を受けられるよう設立されたため、世界各地からの学生が学ぶ国際色豊かな大学。



モンクット王トンブリ工科大学(タイ)

1960年設立の工学系大学。モンクット王はタイ国の現王朝4代目の王(19世紀在位)で、タイの近代化に大きな功績を残した王として知られている。

キャンパスの国際化に向けて—多様な学びの機会・雰囲気—

岐阜大学国際交流委員会副委員長 教育学部 教授 廣田 則夫

「教育に軸足を置いた教育研究大学」を目指す本学にあっては、「国際交流」においても、「学生の教育」を軸に進めていくことが重要である。

本学では、年間400名を超す留学生在が日本人学生と一緒に研究・勉学に励んでいる。本学の国際交流を進めていく上で、この400名を超す留学生と日本人学生との日常的な交流こそが、「キャンパスの国際化」に不可欠である。こうした「キャンパスの国際化」を通じて、ともすれば欧米に偏りがちな学生の興味を広く世界に向けさせていくことができると思われる。

また、学生の交換留学プログラムを活発に推進していくためには、相互にほぼ同数の学生の交換を毎年送りあうのが望ましく、また実際、ほとんどの協定文書にもそのように謳われている。学生の交換留学プログラムを組み込んだ学術交流提携校の数は、すでに20数校に及んでいるが、本学の学生の提携校への派遣は、年間10数名に止まっている。しかも、そのほとんどが英語圏である。

継続性のある国際交流を推進していくためには、学生の交換留学プログラムの質的・量的な拡大が望まれる。

こうした「キャンパスの国際化」及び、交換留学プログラムの拡大には、今更言うまでもないことであるが、コミュニケーションの手段としての語学能力が必要である。本年、国際交流委員会主催で、教育学部、地域科学部教員有志の協力を得て、「English Lounge」を開催してきたのも、「キャンパスの国際化」、「英語学習への刺激」などが目的であった。

全学共通教育を始めとしたカリキュラムに組み込まれた語学教育、留學生との多様な交流、そして提携校を主とした交換留学プログラム、海外研修プログラムなど、多様な「学びの機会・雰囲気」を提供し、支援していくことが、本学の国際化に寄与し、ひいては地域の国際化に大きな貢献をするものと強く信じている。

外国人留学生からのメッセージ

工学部応用情報学科 2年生

ベク
チャン
白 燦(韓国)



日本が本当に 好きになりました

韓国から来ました、工学部2年生の白燦と申します。

2年半前岐阜大学留学生センターの日本語研修生として初めて日本にきました。最初はやっぱり言葉も違うし知り合いも誰一人いない所での生活が怖かったのですが、今振り返るとセンターの先生たちとスタッフの皆さんが気を使ってくださったお陰で無事に過ごせたと思います。でも“温めますか?”という店員さんの言葉を聞き取れなくて後から食べようと思ったお弁当を温められちゃって困ったこととか、ファミレスで“飲み物はよろしいですか?”と聞かれたらいつも“よくないです”と答えたことなどは多分日本を去ってから忘れられないと思います。

日本語研修を無事修了して岐阜大学工学部に入学しました。まだ慣れない一人暮らしとそんななか学校の勉強もちゃんとやって行かないといけないということで不安がいっぱいでしたが、またいろんな人の支えで無事にやって行くことができまして今なんとか大学生らしい生活を過ごしていると思います。学校の勉強も僕なりに頑張っていますし、サークル活動や趣味など充実した生活をしています。

フォーク村というサークルでバンドをやっています。僕はボーカルをやっている日本の歌を歌う機会が多かったため日本語上達に役立ちました。特にみんなが僕の日本語発音校正に取り組んでくれたこととかは本当に楽しい思い出です。サークルに入って一番うれしいことはいい友達が沢山

できたことです。皆にいろいろと迷惑をかけたり助けてもらったりしたから今の自分がいると思います。

日本に来て様々な出会いがあって、そして日本が本当に好きになりました。日本に来る前には言葉、文化、習慣など韓国と違うところを気にしていました。しかし、今思うのは人には皆共通点があり、違うところよりその共通点を見つけたらすぐ友達になれるということです。僕はこの経験をいかして日本だけじゃなく世界の人々と友達になろうと思います。皆さんも僕のように世界の人々と友達になってみませんか?



外国人留学生からのメッセージ

日本語・日本文化研修留学生

**ピムチャン・
スワンナーコーン**(タイ)
日本で初めての雪に感動



タイのカセサート大学から日本語・日本文化研修留学生として岐阜大学に参りました。

岐阜大学に来た時から今まで3ヶ月ぐらい経って、時間の流れは以前より早いと感じています。なぜだろうと思って、楽しかった時間ばかりが頭の中に浮んでしまいました。

初めて外国に来た私は今からの生活はどうか、友達はどうなるんだか心配して心細かったのですが、留学生センターのスタッフは温かい笑顔であいさつしてくれて、ほっとしました。それに日本人の友達も留学生の友達も皆、元気でやさしい人なので、すぐ仲よくできました。友達といろいろな場所へ遊びにいたり、文化交流をしたりしていて、よかったですと思います。

ところで、日本に来て、一番うれしかったことは雪を初めて見たことです。私は暑い国の人なので、日本のさむさに耐えることができないと思っていたが、初めて雪を見た時はうれしくてさむさのことをすっかり忘れてしまいました。ですから、今のところで自分は暑さよりさむさが好きだとやっと

分かってきました。それはなぜ私がここに来たかという意味です。日本語の能力を上達するためではなく、自分のことをもっと分かるように、素敵に大人に成長できるようにするためにやってきました。

帰国まで8ヶ月間しか残っていませんが、元気に時間を過ごして、いっぱいいい経験をしようと思っています。明日はどんな楽しい日だとか、楽しみにしています。



留学生体験記

グリフィス大学に留学

工学部機械システム工学科 4年

家田 光将



旅先での出会いは新鮮

オーストラリアの東岸ブリスベンにあるグリフィス大学ネイサンキャンパスに1年間の短期交換留学をしました。ブリスベンは緑が多く自然豊かで、またゴールドコーストで有名な海岸線からも近い都市です。そして私の通ったキャンパスならびに生活していた学生寮(キャンパスから徒歩3分)は小高い山の上に位置し静かで、さらには大型のショッピングセンターから近く快適な生活を送る絶好のロケーションです。

大学では、前半に留学生のための英語の授業、興味を持っていた航空学、物理学を後半は専攻の流体力学や数学といった科目を履修しました。英語の授業ではエッセイの書き方やプレゼンテーションの仕方を学びました。そこから得られたものを、その他の授業における実験レポート、小論文といった課題に活かしていきます。しかし文語体の英語は非常に厳格で自分の専攻科目といっても、自分の考えを正確に相手に伝えるための文章を書く事は大変に難しいものでした。その中で、私が何を伝えたいのかを共に会話をする中で理解しその表現方法を提案してくれたり現地学生の支えはとても大きいものでした。

勉学以外には、サークルに入り世界各国からの留学生とのアクティビティーを楽しみました。長期休暇では、オースト

ラリア全域を列車を使い2ヶ月近くをかけて旅をする経験もしました。旅先での出会いは新鮮でいろいろな考え方、知識に触れる事が出来ました。

留学によって得られたかけがえのない経験を今後の生活の中で役立てていきたいと思っています。



留学生体験記

ソウル産業大学に留学中

教育学部英語教育 4年

鳥居 美由紀



今、ここでしか学べないこと

8月22日、飛行機から韓国の街が見えた時、出発前まで期待しかなかった私の心が、初めて不安になったのを覚えています。韓国語も下手だし何もわからなくて、どうやって生活して、どうやって授業にも出るのか…。そんなことばかり考えていたのに、いつの間にかすっかりソウルに自分の居場所が出来たように感じます。とは言え、それでも未だに毎日が新しい発見の連続で、スーパーに行っても、バスに乗っても何をして常にも何かに驚き、感動している気がします。

韓国は、旅行で以前にも2度ほど来たことがあったので、韓国は日本と比較的似た国だという印象を持っていたのですが、住んでみて初めてわかる事も本当に多く、今は韓国と日本が似ているようで違う国だと思うし、また日本と韓国の歴史的背景について考えさせられることも少なくありません。授業中に「日本によって～」と言うのを聞く機会も少なくないし、友だちが連れて行ってくれた店のおばさんに、「日本人は独島についてどう思っているの?」と聞かれたこともあります。

また、ソウル産業大学の建物の中にも、植民地時代に建てられたというものもあり、どこにいても、日本が過去にこの国を植民地支配していたことを感じさせられます。そんなこともあって、日本人としては、ひやひやさせられる事も少な

くありませんが、ここソウル産業大学の中でも、大学の周りでも外国人があまりいないこともあってか、友だちや周りの方々がいつも気にかけて下さり、親切にして下さるおかげで、ここでの生活も不自由なく楽しませていただいています。校内の売店のおばさん達、学校前の店のおじさん・おばさん達、そして何よりも友だち…誰一人いなくても、こんなにも充実した生活は出来ないのではないかと思います。これら全ての人への感謝の気持ちを常に忘れずに、今まで以上に残りのソウルでの生活を充実したものにしたいのと同時に、今、ここでしか学べないことを一生懸命勉強したいと思っています。



在 外 研 究 報 告

ドイツでの海外実習

岐阜大学教育学部教授

小林 浩二



教育学部では、中期目標に組み込んだ海外実習(授業科目は国際理解実習)が今年度から始まった。その一環として、私は、10月27日～11月6日の11日間、ドイツをフィールドにして海外実習を行ってきた。私の海外実習の目的は、ドイツの地域的特色を探ること、2年生2人、4年生4人、大学院生2人、人、8人を引き連れての旅だった。

1990年の東西ドイツの統合から15年。ドイツは、急ピッチで統合化が進む一方で、東西の地域格差、高い失業率など深刻な問題も顕在化している。今回の実習は、ハンブルク、ベルリン、エルフルトの3都市を訪ね、こうした点を観察すると同時に、岐阜大学との提携校であるエルフルト大学との交流を図ることがねらいだった。幸い、実習期間中、好天に恵まれたこともあり、当初の目的を達成することができた。

とりわけ、私の印象に強く残っているのは、エルフルト大学の先生や学生との交流及び基礎学校(Grundschule)での授業参観だった。エルフルト大学では、地理学が専門のブリックス教授、日本語を教えていらっしゃる仁科先生、日本語を学んでいるドイツの学生達と情報交換をすることができた。学生が見つめないながらも英語で日本や岐阜の紹介を行い、うどんや手巻き寿司でコンパを盛り上げ、交流を実質的なもの

にしてくれた。また、私達はエルフルト及びイエナの2つの基礎学校を訪ねる機会に恵まれたが、先生達が信念をもって子供達と接触している様子や子供達すべてが熱心に学び、のびのびと意見を発表しているのを見て、日本との教育システムや社会そのものの違いを強く実感した。私達の海外実習は、有意義で楽しいものだった。



エルフルトのシュタインヴァルト基礎学校にて



エルフルト大学での
情報交換
—教育学部生の発表

教育学部における 日中両言語対照研究

電子科技大学日本語学部

尹 永順 (中国)



中国の電子科技大学から研究者として教育学部に来ています。岐阜大学で一年間日本語文法に関する研究を行って、帰国後日本語教師の仕事が続けたいと思っています。

電子科技大学は中国西南地区にある四川省の省都成都市に位置しており、電子学、電子情報技術などの学科を大きな柱としている国立大学です。1998年には日本語学部が設置され、日本の社会、文学、経済、歴史など多彩な切り口を通して日本の言葉と文化を追求しています。日本語学部生のほかに、日本と日本語に興味を持って日本語の勉強を始めた学生数が毎年増えています。卒業生たちは、電子科技大学の「電子」という特色と日本語とを結びつけて、卒業後日本企業やソフト開発業など幅広い分野で活躍しています。

私はこの一年間を利用して、日中両言語対照研究を行いたいと思います。比較対照を通して、日本語と中国語の共通点と相違点を指摘するなど、中国人の日本語勉強と日本人の中国語勉強に役立てるような研究を目指しています。そして、より多くの中国人が日本文化を勉強し、より多くの日本人に中国語を勉強してもらうことによって、お互いに理解を深めていけたらいいと思っています。

私は岐阜大学と電子科技大学の学術交流協定により最初

に派遣されてきた仲間の一人です。両校の交流の掛け橋になればと願っています。私が日本、そして岐阜大学に来て初めて教科書だけでは見られなかった日本と日本の大学が分かったように、岐阜大学の皆さんにもぜひ中国、そして電子科技大学に来て、中国の変化と大学生の生活を自ら了解してほしいです。



電子科技大学
キャンパス



短期留学推進制度(派遣)の留学情報

この制度は(財)日本学生支援機構が実施する制度で、大学間交流協定に基づき、外国の大学との間で相互に学生を交換する場合に、下記の「資格及び条件」を満たしている者を、日本学生支援機構に奨学金候補者として推薦するものです。渡航時期は、各年4月1日から翌年の3月15日までの間に渡航できる者です。

【資格及び条件】

- ①派遣する期間は、3か月以上1年以内
- ②短期留学生派遣計画に基づき、派遣先大学が受入れを許可する者
- ③学業成績が優秀で、人物等に優れ、学部長又は研究科長が推薦する者
- ④派遣先大学での専攻は問わないが、留学の目的及び計画が明確で海外への留学により、効果が期待できる者
- ⑤経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
- ⑥留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者または本学の学位を取得する者
- ⑦他の団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、奨学金の支給月額の合計額が8万円未満の者

【奨学金】 ……月額8万円(2006年度現在)

なお、日本学生支援機構の奨学生として不採択になった場合でも自費(私費)により留学することができ、派遣先大学での授業料等の免除と一定数の単位互換が認められます。

- ※1 英語圏へ留学する場合は、申請に当たりTOEFLスコアの提出を要求されますので、事前に受験し取得しておく必要があります。(英語圏への留学は、TOEFL-CBTスコアで173点以上が目安となります。また、TOEFLスコアは次に記載する岐阜大学の奨学金制度に応募する場合にも必要です。)
- ※2 申請手続きは、毎年9月中旬を目途に各学部(研究科)に通知します。申請した結果については、日本学生支援機構から決定通知があり次第通知します。
- ※3 派遣先大学等は、P6の表を参照してください。
- ※4 本学の在籍身分は「留学」となり、岐阜大学への授業料の支払いは必要です。

短期留学の奨学金情報

本学には、学術交流協定を締結している外国の大学へ短期留学を希望する学生(外国人留学生を除く)に対して、選考の上奨学金を支給する制度があります。

この制度は、外国の大学へ短期留学する者の経済的支援を行い、外国留学の機会を拡大することにより、学生の国際交流意識を高め、国際感覚を備えた人材の養成を目的に制定されたもので、概略は次のとおりです。

【資格】 ……次の要件をすべて満たす者

- ①学業成績が優秀で、人格等が優れている者
- ②留学先の大学において、教育を受けるに十分な外国語の能力を有する者(上記※1参照)
- ③帰国後も引き続き本学において学業を継続する意志を有する者
- ④他の機関から留学のための奨学金を受給していない者

【奨学金】 ……月額5万円又は4万円(派遣先大学の国によって異なる)を1年以内

【1年に採用する奨学生】 ……2人以内

本学の在籍身分は「留学」となり、岐阜大学への授業料の支払いは必要です。

なお、この制度による奨学生の募集は、毎年9月に日本学生支援機構の奨学生募集と同時にを行います。

研究者交流助成事業(大学院学生の海外派遣)

岐阜大学国際交流委員会による学術交流協定大学との研究者交流(派遣・招へい)助成事業は、大学院学生の派遣も助成の対象となっています。募集については例年春頃、学部(研究科)宛に通知しています。

※詳しくは岐阜大学ホームページでもご覧いただけます。

学術交流協定大学との研究者交流(派遣・招へい)助成要項 —抜粋—

(対象者)

第二 助成の対象となる者は、本学の専任教員で、学術交流協定大学との教育・研究活動について次の各号に掲げる具体的な計画のあるものとする。

- 一 講義
- 二 講演
- 三 共同研究等

2 前項に規定するもののほか、本学の大学院学生で、学術交流協定大学で行う共同研究等のため、派遣されるものも、助成の対象とする。

(派遣・招へい人員)

第三 派遣・招へい人員は、各年若干人とする。

(派遣・招へい経費)

第四 助成金は、本学国際交流促進のための奨学寄附金の一部を充て、旅費及び滞在費を支給する。この場合、航空運賃は最下級運賃とし、旅費及び滞在費の支給額に限度を設けることがある。

学術交流協定締結 (平成17.12.1現在)

■大学間協定(29大学)

| 大学名 | 国名(所在地) | 大学名 | 国名(所在地) |
|----------------|-------------------------|-----------------|--------------------------|
| ※カンピーナス大学 | ブラジル サンパウロ州カンピーナス | ※ウエストバージニア大学 | 米 国 ウェストバージニア州モータウン |
| ※サンディエゴ州立大学 | 米 国 カリフォルニア州サンディエゴ | カセサート大学 | タイ バンコク |
| ※浙江大 学 | 中 国 浙江省杭州市 | ※アバテイダンティ大学 | 連 合 王 国 スコットランド州ダンティ |
| ※広 西 大 学 | 中 国 広西省南寧市 | ※内 蒙 古 農 業 大 学 | 中 国 内モンゴル自治区フフホ市 |
| ※電 子 科 技 大 学 | 中 国 四川省成都市 | ※シドニー工科大学 | オーストラリア ニューサウスウェールズ州シドニー |
| ※江 南 大 学 | 中 国 江蘇省無錫市 | ※ヴェスプレーム大学 | ハンガリー ヴェスプレーム |
| 中 国 医 科 大 学 | 中 国 遼寧省瀋陽市 | ア ン ダ ラ ス 大 学 | インドネシア 西スマトラ州パダン |
| ※ル ン ド 大 学 | スウェーデン ルンド | バングラデシュ農業大学 | バングラデシュ マイメンシン |
| ※ノーザンケンタッキー大学 | 米 国 ケンタッキー州ハイランドハイツ | ※エ ル フ ル ト 大 学 | ド イ ツ エルフルト |
| ※ソウル産 業 大 学 | 韓 国 ソウル | ※吉 林 大 学 | 中 国 吉林省長春市 |
| サント・トマス大学 | フィリピン マニラ | ※チ エ ン マ イ 大 学 | タイ チエンマイ |
| ※グ リ フ ィ ス 大 学 | オーストラリア クイーンズランド州サウスポート | ※ダ ッ カ 大 学 | バングラデシュ ダッカ |
| ※ユ タ 大 学 | 米 国 ユタ州ソルトレイクシティ | ※モンクット王トンプリ工科大学 | タイ バンコク |
| ※ユ タ 州 立 大 学 | 米 国 ユタ州ローガン | ※華 僑 大 学 | 中 国 福建省泉州市 |
| ※ハノイ工科大学 | ベトナム ハノイ | | |

※印は、授業料等相互不徴収制度のある大学を示す。

■部局間協定(10機関)

| 大学・学部等名 | 国名(所在地) | 協定部局 | 大学・学部等名 | 国名(所在地) | 協定部局 |
|------------------|------------|---------|-------------------|--------------------------|----------|
| チュラロンコン大学理学部 | タイ バンコク | 応用生物科学部 | ※コンケン大学医学部 | タイ コンケン | 医学部 |
| 慶北大学校農科大学 | 韓国 大邱市(テグ) | 応用生物科学部 | ※国立全南大学工学部 | 韓国 光州市(クアンジユ) | 工学部 |
| コンケン大学農学部 | タイ コンケン | 応用生物科学部 | 韓国農村振興省国立農業科学・技術院 | 韓国 京畿道水原市(スウォン) | 応用生物科学部 |
| コンケン大学学部間共同開発研究所 | タイ コンケン | 応用生物科学部 | ※シドニー大学文学部 | オーストラリア ニューサウスウェールズ州シドニー | 教育学部 |
| ※浙江大 学 医 学 院 | 中国 浙江省杭州市 | 医学部 | ※ザ ガ ジ グ 大 学 | エジプト ザガジグ | 連合獣医学研究科 |

※印は、授業料等相互不徴収制度のある大学を示す。

国際交流状況について

1. 岐阜大学外国人研究者受入数

(H17.12.1現在)

| 区分 | 教育学部 | 地域科学部 | 医学部 | 工学部 | 応用生物科学部 | その他 | 合計 |
|-----------|------|-------|------|-------|---------|------|--------|
| 私 費 | 2(1) | 0 | 3(2) | 3(2) | 11(5) | 0 | 19(10) |
| 奨学寄附金・その他 | 0 | 0 | 2(1) | 8(2) | 3 | 3(1) | 16(4) |
| 合 計 | 2(1) | 0 | 5(3) | 11(4) | 14(5) | 3(1) | 35(14) |

1か月以上本学に滞在し、岐阜大学外国人研究者受入れ規則に基づき、受入れを承認された外国人研究者をいう。()内は、女子を内数で示す。

2. 岐阜大学外国人研究者などの訪問数(1月未満)(平成16年度)

| 区分 | 教育学部 | 地域科学部 | 医学部 | 工学部 | 応用生物科学部 | その他 | 合計 |
|-----|------|-------|-----|-----|---------|-----|-----|
| 合 計 | 32 | 0 | 35 | 33 | 9 | 55 | 164 |

1. 以外で、本学に短期間滞在した外国人研究者等をいう。

3. 岐阜大学教職員海外渡航者数(平成16年度)

| 区分 | 教育学部 | 地域科学部 | 医学部 | 工学部 | 応用生物科学部 | その他 | 合計 |
|-----|------|-------|-----|-----|---------|-----|-----|
| 出 張 | 28 | 14 | 111 | 172 | 56 | 51 | 432 |
| 研 修 | 23 | 3 | 24 | 9 | 4 | 4 | 67 |
| 合 計 | 51 | 17 | 135 | 181 | 60 | 55 | 499 |

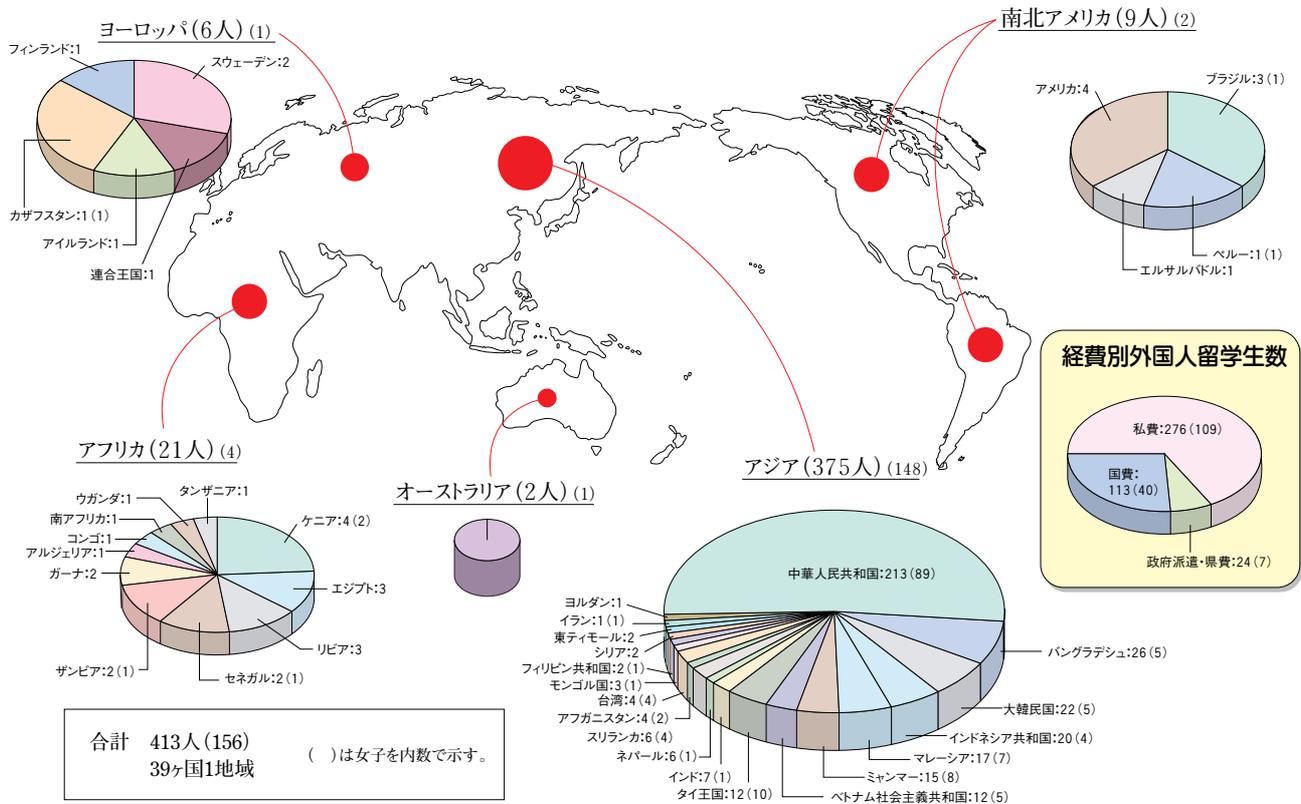
4. 岐阜大学学生の留学者数(平成16年度)

(私事・休職渡航を除く。)

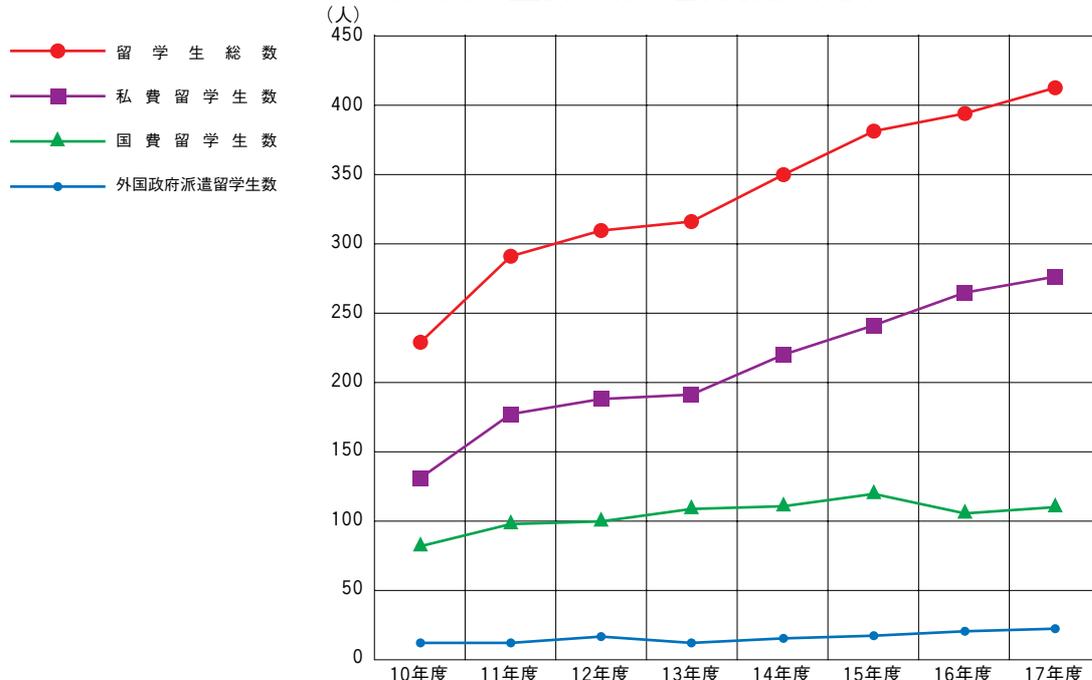
| 区分 | 教育学部 教育学研究科 | 地域科学部 地域科学研究科 | 医学部 医学系研究科 | 工学部 工学研究科 | 農学部 農学研究科 | 連合農学 研究科 | 連合獣医学 研究科 | 合計 |
|----------------------|----------------|------------------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------------|----|
| 短期留学推進制度 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 大学間交流協定 (私費留学を含む) | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| サマースクール | 7 | 2 | 0 | 5 | 2 | 0 | 0 | 16 |
| 休学による留学 (語学研修等含む) | 1 | 2 | 1 | 15 | 6 | 0 | 2 | 27 |
| 合 計 | 9 | 5 | 1 | 24 | 8 | 0 | 2 | 49 |

岐阜大学国別外国人留学生数

(2005年12月1日現在)



外国人留学生受入数(経費別推移表)



| 留学生総数 | 230 | 293 | 311 | 315 | 351 | 383 | 394 | 413 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 私費留学生数 | 132 | 179 | 190 | 192 | 221 | 243 | 265 | 276 |
| 国費留学生数 | 84 | 99 | 103 | 110 | 113 | 122 | 107 | 113 |
| 外国政府派遣留学生数 | 14 | 15 | 18 | 13 | 17 | 18 | 22 | 24 |

平成16年度国際交流奨学寄附金協力団体等一覧

| | |
|---------------|-----------------|
| イビデン株式会社 | 財団法人国際調和クラブ |
| 株式会社エヌテック | 財団法人田口福寿会 |
| 株式会社大垣共立銀行 | サンメッセ株式会社 |
| 株式会社後藤孵卵場 | 大日コンサルタント株式会社 |
| 株式会社十六銀行 | 太平洋工業株式会社 |
| 株式会社スギヤマメカレトコ | 東邦ガス株式会社岐阜支店 |
| 河合石灰工業株式会社 | 日東興産株式会社北方自動車学校 |
| 岐阜車体工業株式会社 | 日本耐酸壘工業株式会社 |
| 岐阜信用金庫 | ハートランス株式会社 |
| 岐阜乗合自動車株式会社 | 三田洞自動車学校 |
| 国際ソロプチミスト岐阜 | ユニオンテック株式会社 |
| 財団法人井上国際交流基金 | |

平成16年度につきましては、上記の企業・団体から、国際交流促進のための奨学寄附金をご寄附いただきました。誌上をもちまして、厚くお礼申し上げます。(50音順、敬称略)

編集後記

岐阜大学から提携大学に留学した方、提携大学から岐阜大学に留学している方の声をお届けします。よりよく知っていただけるように、レイアウトを少し工夫しました。みなさんも、チャンスがあれば、是非、岐阜大学が提供しているプログラムを利用して、世界を肌で感じてくださいね。

(牧 秀樹)

本誌は岐阜大学ホームページ上でも公開されています。

(<http://pub.jim.gifu-u.ac.jp/Docushare/dscgi/ds.py/View/Collection-145>)。

編集者：国際交流委員会：六郷 恵哲（工学部） 安部 淳（応用生物科学部）
留学生交流専門委員会：根岸 泰子（教育学部） 牧 秀樹（地域科学部）
事務局：黒田 広子（国際交流課） 山田 安男（留学生課）

学術情報部国際交流課

(TEL: 058-293-2011、FAX: 058-293-3209)

E-mail: kokusais@cc.gifu-u.ac.jp

ホームページ: http://www.gifu-u.ac.jp/sub_menu/inte_exchange.html

学務部留学生課

(TEL: 058-293-2139 FAX: 058-293-2143)

E-mail: direcent@cc.gifu-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.gifu-u.ac.jp/~isc/DIVISION/WRK/ryuugaku.html>